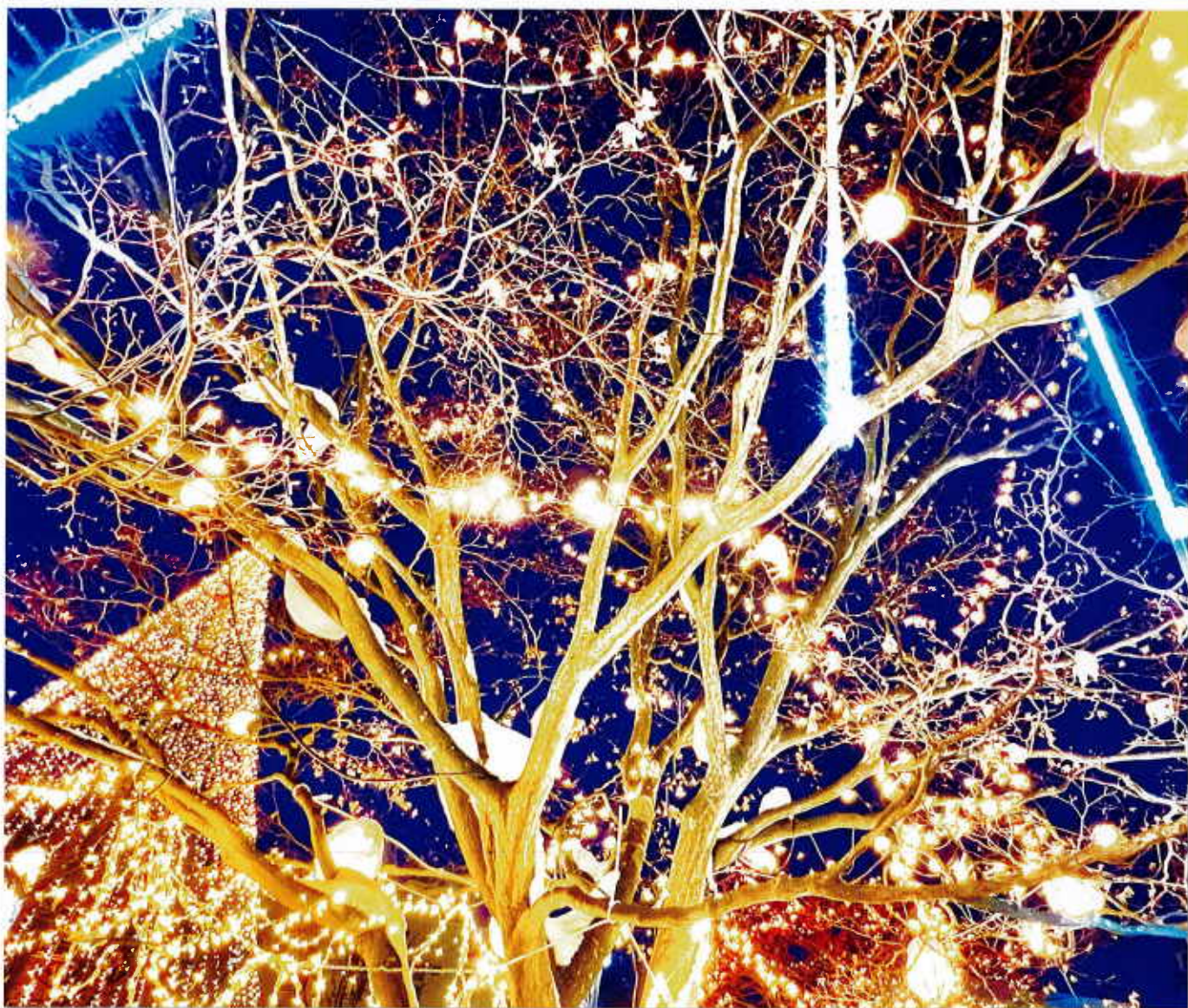


■発行／江別工業団地協同組合 江別市工業町15の1 電話384-3262 ■発行責任者／理事長 杉野邦彦 ■印刷／笹岡印刷株式会社

\*広報「ついでしかり」の名称は、江別の発祥の地「対雁」(現在の工業団地周辺)の地名からとったものです。



江別駅前公園のイルミネーション

撮影：杉野理事長

## 目次

- |                                 |                                  |
|---------------------------------|----------------------------------|
| ○ 表紙 江別駅前公園のイルミネーション ..... 1    | ○ 公平委員会総務大臣表彰 ..... 12           |
| ○ 年頭のご挨拶 ..... 2~3              | ○ 【予告】職長・安全衛生責任者教育講習会 ..... 12   |
| ○ 全国産業安全衛生大会に参加して(福岡) ..... 4~5 | ○ 【予告】(低圧)労働安全衛生特別教育講習会 ..... 12 |
| ○ 視察研修旅行 ..... 6~7              | ○ 【予告】親睦麻雀大会開催 ..... 12          |
| ○ 2022年度の健康診断結果まとめ ..... 8~9    | ○ わが郷土の歴史 その47 ..... 13          |
| ○ 献血へのご協力ありがとうございます ..... 10    | ○ 江別駅前イルミネーション ..... 14          |
| ○ 新型コロナワクチン4回自職域接種終了 ..... 11   | ○ 組合予定行事 ..... 14                |

# 令和五年 年頭にあたって

江別工業団地協同組合  
6代目理事長

杉野 邦彦



組合員のみなさま、新年あけましておめでとうございます。

日頃より組合運営にご理解ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

年末の恒例でその年の世相を反映した「今年の漢字」があります。令和元年は、お祝いムードの「令」、令和2年は一転して三密の「密」、令和3年は東京オリンピックに湧いた「金」、そして令和4年は、また一転してロシアがウクライナに軍事侵攻した「戦」、この「戦」は、継続する新型コロナとの戦い、そしてここに来て様々なコストアップによる物価高との戦いと続き、まさに世相の大きなうねりを感じます。

お陰さまで江別工業会館の職域ワクチン接種（昨年末で4回目）は、通算で延べ23,000人を超えました。関係各位のご協力に深く感謝申し上げます。しかし新型コロナの発生から丸3年が経過してもなお、新型コロナ感染症は収束するとは思えない状況です。4年目の今年もコロナ禍は続き、アフターコロナはまだ遠く先のように感じます。今、世界はウィズコロナの時代に入り、経済と感染を天秤にかけながらの対応を続けています。しかし何と言っても、今後もすべては健康が第一であることを基本に行動していただきたいと思えます。

私たちの生活においてはこの数年、行動変容から価値変容まで大きな変化がおきています。これからも、コロナ、戦争、インフレ、物価高、制度改革、デジタル化、ゼロカーボン、SDGsなど、さまざまな課題に取り組んでいかなければなりません。そうした中で、北海道は海外からの観光需要や外食等の飲食需要も少しずつですが戻りつつあります。わが江別工業団地の事業も、今年は状況を見極めながらできることを増やしていこうと思います。また電気や燃料コストが上昇している中で、組合の共同受電事業も令和7年度に変電所設備の一部更新を計画しており、今年は計画準備期間に入っております。今後も組合員への安全で安定した電力供給の使命を全うすべく取り組んでまいりますのでご理解ご協力をお願いいたします。

昨年に引き続き「江別駅前公園イルミネーション」設置については、今回より協力団体となった江別工業団地組合の電力部が中心となって作業しました。今回は1万個のLED電球を追加しますので、ぜひ3月いっぱい明るい希望の光をお楽しみ下さい。私たちはこれからも「チーム江別」の力を発揮して、令和5年が、健やかで明るい一年になるように組合活動を前進させていきたいと思えます。本年もどうぞよろしくをお願いいたします。

# 年頭のご挨拶

江別市長

三好 昇



新年あけましておめでとうございます。

皆様には、日頃から市政各般に深いご理解と温かいご支援、ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの相次ぐ変異やそれに伴う感染拡大、過去に例を見ない大雪、約30年ぶりとなる原油・物価高騰などが、市民生活や市内経済に大きな影響を及ぼしたほか、ロシア連邦によるウクライナ侵攻では、数多くの一般市民の尊い人命が奪われ、平和都市宣言をする市として、平和の大切さを再認識した1年でした。

特にコロナ関連では、感染力の強いオミクロン株が報告され、前年に続き、医療関係者をはじめ、皆様にご協力をいただきながら、ワクチン接種等の感染症対策を進めることができ、改めて感謝申し上げます。

多大な影響を及ぼした大雪につきましては、雪対策関連事業の見直しを行い、「安全・安心な冬の暮らしの確保」につなげてまいります。

原油・物価高騰対策といたしましては、現在、中小企業者等による省電力設備更新や貨物自動車運送事業者への省エネ対策等に向けた臨時的な支援を行っております。

長年の課題でありました「北海道林木育種場旧庁舎」は、株式会社珈房サッポロ珈琲館として再生され、

「はやぶさ広場」は「都市と農村の交流センターえみくる」に移転し、少年野球の聖地として誕生しました。

また、市民団体からの要請もありました、性的少数者への配慮については、道内2例目となる「パートナーシップ宣言制度」を開始いたしました。

さて、今年は今総合計画の最終年であり、課題として取り組んできた人口減少対策に関する各種施策を進めるほか、民間事業者のアイデアのもと遊休未利用地の有効活用を図ってまいります。

また、市立病院は、道に指定された「新型コロナウイルス感染症重点医療機関」及び「受入協力医療機関」としての役割を果たすとともに、新病院事業管理者のもと、再建に向けたロードマップに沿って経営改善に努めてまいります。

今後におきましても、コロナ禍や物価高騰対策のほか、デジタル化やゼロカーボンシティ推進に向けた取り組みにつきましても積極的に進めてまいりますので、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新たな年が皆様にとって輝かしい1年となりますよう、心から祈念申し上げます。



## 第81回 全国産業安全衛生大会 in福岡に参加して

株式会社ホクエイ  
保安技術室 芦崎 博幸

第81回の全国産業安全衛生大会が10月19日～21日の3日間、福岡（マリンメッセ福岡A・B、福岡国際会議場）で開催され、江別工業団地協同組合の杉野理事長、村田専務、当組合安全衛生委員会副委員長の久保社長と共に参加させて頂きました。



大会のテーマは「太宰府の地 みんなで学んで高めよう安全・健康の知恵」そしてスローガンは、「一人ひとりカケガエノナイひと 全員参加で安全と健康のために学ぼう」で、そのスローガンを会場の参加された全員で唱和し、指差し呼称を行った時の迫力は初めて参加した私には貴重な体験となりました。

開会式一部の最後の安全宣言では、「我が国の労働災害は…長期的に減少してきた。しかし、新型コロナウイルス感染症の中…労働災害による死亡者数は増加に転じた…高齢者の労働災害が年々増加し、転倒災害や墜落・転落などが依然として減少していない…。」

「ここ福岡の地で開催される本大会において、労働災害による犠牲者をこれ以上出さないという決意を新たに…関係者が一丸となって取り組むことを誓う。」という力強い大会宣言を聴き、改めてこの大会の開催意義を感じる事が出来ました。

「働く人の安心フェア」のキャッチフレーズで同時開催されていた緑十字展2022の展示会場へも足を運び、日々進化している安全衛生の保護具・機器を見る事が出来ました。作業の「持ち上げる」動作によって選べるアシストスーツ、搬送ロボットなど重筋作業軽減に役立ち作業環境のカイゼンが期待できます。



2日目はテーマ毎の分科会、講演会に参加しました。各社が安全管理のルールを構築し、日々安全活動を実践していても、如何に浸透定着させることが難しく、手間も時





間もかけ地道に活動する様子が発表から伝わり基本的なこと教わりました。また、ロボット技術の最前線の講演では、新しいタイプのロボット「人協働ロボット」の開発が加速的に進んでいて、単純作業や重筋作業を補うだけでなく、安全で生産性も期待できる新たな生産現場を構築する提案でした。



ここでは、如何に安全管理の基本ルールを浸透定着させることが難しいかを大手製鉄メーカー 安全推進部の事例を紹介いたします。

過去の災害分析から6つの主要因を挙げ「安全6原則」(全社共通遵守事項)を制定しています。それらを定着させるために①各職場ミーティング、朝礼での唱和、②ワッペン、シール、カードなどの配布、③「安全6則ガイドブック」冊子の発行、④安全6則違反クイズ、⑤安全6則再考活動、⑥アンケートの活用など認識を高めるための活動です。

### 「安全6則」(全社共通遵守事項)

| 項目        | 遵守事項「安全の合言葉」              |
|-----------|---------------------------|
| 1 稼働設備停止  | 「入る時 設備の停止と 修理札」          |
| 2 高所作業    | 「高所作業、命を守る、安全带」           |
| 3 玉掛け     | 「吊り荷には、下に入らず、ノータッチ」       |
| 4 重機・フォーク | 「フォークと重機と軌道車には連絡なしに近づかない」 |
| 5 酸欠・CO   | 「酸欠や、CO 事前に、検知して」         |
| 6 感電      | 「充電部、見えない電気が、命取り」         |

このような活動の背景には、各職場単位の安全意識の醸成が要であり、作業員一人ひとりとの対話に依存し、それを担うキーパーソンは職場管理者で内容の濃い対話にしており、そこから新しいリスクの抽出が出来ると思う良い循環となっています。

管理者にとって伝えるべき情報を浸透させ、安全行動を徹底させるのは、そう簡単ではなく時間も時間もかかるものです。大切なことは「当たり前前のことを当たり前前の人に対して言葉で評価すること」でしっかり実践しているということです。

安全6則を制定してから6年が経過していて、今後も職場でその効果を実感できる安全活動を地道に推進していくとのことです。



最後に、今回初めて参加させて頂きましたが、同行頂いた杉野理事長、村田専務、久保社長のお気遣いで、大変有意義な研修でした。誠に有難うございました。



## 令和4年 視察研修旅行

コロナ感染拡大を考慮しお休みしていた「視察研修旅行」ですが、2年振りに実施する事が出来、今回は、11月24日(木)～27日(日)までの3泊4日、北九州から広島まで回ってきました。その様子を皆さんにお知らせします。

### 1日目 北九州～宇部

1日目は、当組合とほぼ同じ出力の変電所を持つ「北九州工業団地協同組合」へお邪魔しました。組合員数は21社ですが、大きな工場が立ち並び、その使用電力量は130社が集積する当組合とほぼ変わりません。変電所設備も新しく(H29年更新工事実施)、令和7年に「変電所大改修工事」を予定している当組合にとって勉強させていただく対象となる組合でした。

組合役員7名、電力部職員2名で組合を訪問し、変電所改修にかかる経緯や取組内容、注意点等を聞く他、組合が取組む各種事業を紹介し、活発な意見交換をさせていただきました。北九州工業団地協同組合の方から、「うちは電力事業は大きいけれど、その他の事業が殆どなく、組合員間の交流が図れないので、こうして組合員が集まり視察研修に行けるのは羨ましいです」と、言われました。改めて組合員の皆さんとの交流ができていて、色々な事業ができるのだとしみじみ感じました。

コロナ感染を考慮し、北九州工業団地協同組合さんへは人数制限をしてお邪魔しましたので、役員・従業員以外の方には皿倉山展望台へ行っていただき、山からの日本海と工業地帯を眺めていただきました。ちょっと駆け足の展望だったようです。急がせてしまい申し訳ありませんでした。

### 2日目 下関～萩・津和野

2日目はちょっと早起きして下関にある唐戸市場へ行ってきました。北海道ではあまり見かけないお魚が多数!そして、その場で食べれるお寿司が沢山並んでました!朝食を済ませたばかりなのと、お寿司の販売が9時30分からだったので残念ながら食べることはできませんでしたが、次回は絶対食べる!と、固く心に誓いました。食べることはできませんでしたが、市場のお土産はしっかり買いましたよ。市場の後は、萩・

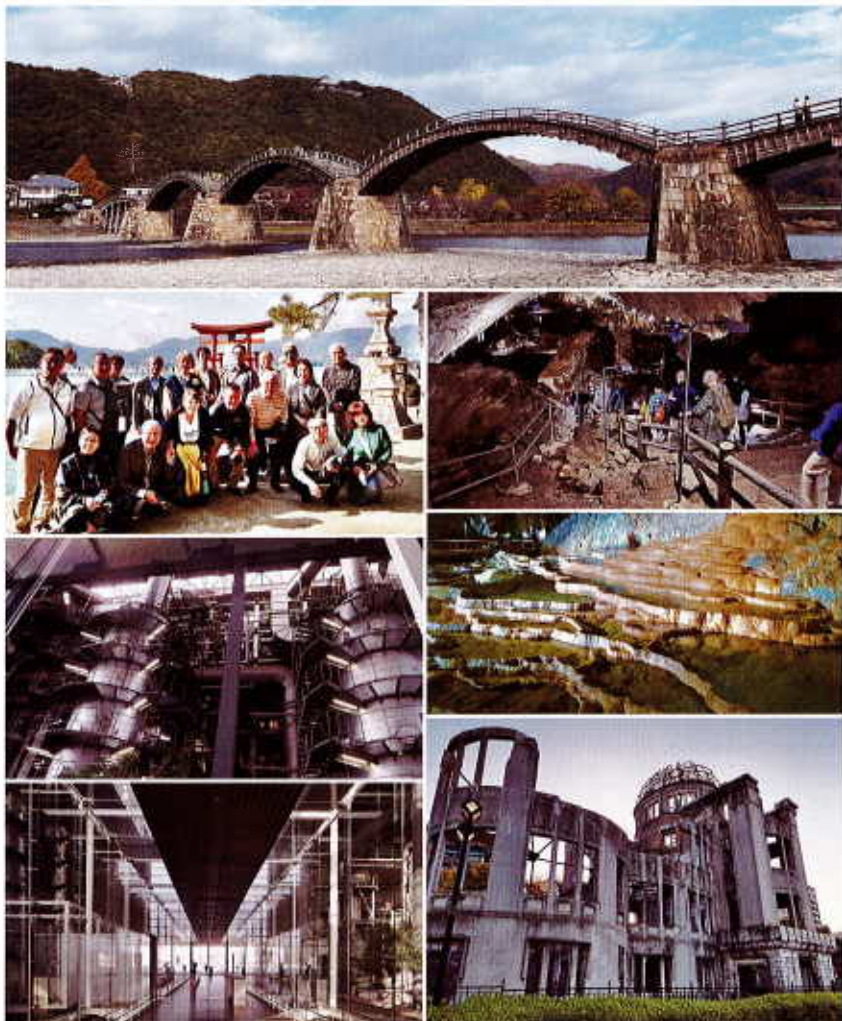
津和野巡りです。松陰神社に始まり、東光寺、城下町散策を巡った後は、秋芳洞、秋吉台展望台、瑠璃光寺五重塔(国宝)と回りました。山口県は総理大臣を5人も出している県で地元では自慢話の一つです。城下町散策の中では高杉晋作や伊藤博文が学んだお寺を拝観、そして、松陰神社では明治維新を駆け抜けた有名な方々が学んだ場所を見てきました。秋芳洞は日本屈指の大鍾乳洞で国の特別天然記念物に指定されています。約1km、高低差40mを約40分かけて歩きます。温度は四季を通じて17℃と一定しており、洞内には百枚皿や黄金柱など地下水によって作り出された神秘的な空間を探勝できます。是非一度足を運んでみてください。

### 3日目 錦帯橋～厳島神社～広島市エコリウム～原爆ドーム・広島平和記念資料館

3日目は錦帯橋から始まり、厳島神社、原爆ドームへと移動です。錦帯橋は日本を代表する木造橋で、1673年に架けられましたがすぐに流失、翌年再建された橋は1950年に流失するまで276年の間威容を保ちました。現在の橋は1953年に再建、架替えを繰り返しながら、劣化した木造の部分を架け替える「平成の架替事業」を終了し、装いを新たに、訪れる人を魅了しています。厳島神社(国宝・重要文化財)は593年に創建。島全体が神の島として崇められていたため、陸地では畏れ多いと潮の満ち引きするところに社が建てられたそうです。ちょうど社の改修工事完了直後に当たりましたので、陸からかけられた橋を渡り、満潮の中に建っている社を間近で見ることができ、とてもラッキーでした。

続いては「美しすぎるゴミ処理場!広島・エコリウム」見学です。広島市の平和公園から南へと向かう通りを進む





ジウムは「呉の歴史」と、造船・製鋼を始めとした各種の「科学技術」を、先人の努力や当時の生活・文化に触れながら紹介しています。大和ひろばには10分の1になった戦艦「大和」が見れます。こんなに大きな戦艦を作った日本の技術に感動しますよ。大和ミュージアムの向かいには「てつのくじら館」という潜水艦が展示されている史料館もあります。深く静かに日本の海を守り続ける潜水艦を、是非、見学して欲しいです。

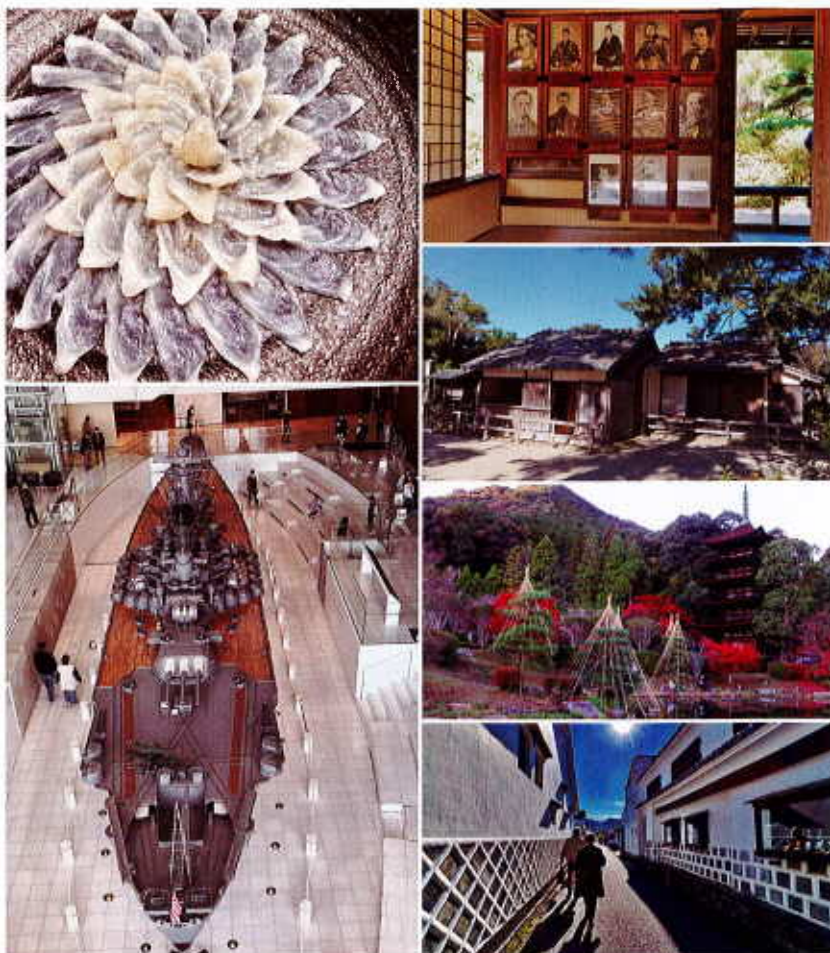
以上のとおり、簡単ですが4日間の視察研修内容を書いてみました。各日の夜には、みんなで地元の美味しい料理とお酒に舌鼓をしながら、その日の見学先のお話をさせてもらいました。参加いただいた皆様ありがとうございます！2年後は、組合50周年も控えています。皆さんに楽しんでいただける視察研修会を企画いたしますので、是非、沢山の方にご参加いただけますようお願いいたします。

(事務局 村田)

と、海のすぐ手前の突き当りに突如現れるこの工場、設計は世界的に有名な建築家谷口吉生氏が行い、ごみ処理場というと一般的にマイナスイメージを抱きがちですが、それを隠すことなく前面に押し出し、ガラス越しに並ぶ稼働中のごみ焼却装置は驚くほど洗練されていて、まるで美術館のようです。工場内の見学も行っていきますので、是非一度見ていただきたい場所でした。3日目の最後は、平和公園を訪れ、原爆ドームと広島平和記念資料館を見学しました。私は、今回で4回目でしたが、何度訪れても感慨深くちょっと悲しい気持ちになり、現在の平和にしみじみと感謝する気持ちが溢れてきます。

#### 4日目 呉・大和ミュージアム、てつのくじら

4日目、いよいよ最終日です。広島市からちょっと足を伸ばし、呉市まで行ってきました。お目当ては大和ミュージアムです。戦艦「大和」を建造した軍港、日本一の海軍工廠のまちとして栄えた呉、大和ミュー





# 2022年度の健康診断結果まとめ

2022年度健康診断は、615名（男性：520名、女性：95名）の方が受診されました。この結果をもとに有所見者の状況や生活習慣の状況をまとめました。

## ● 健康診断受診状況

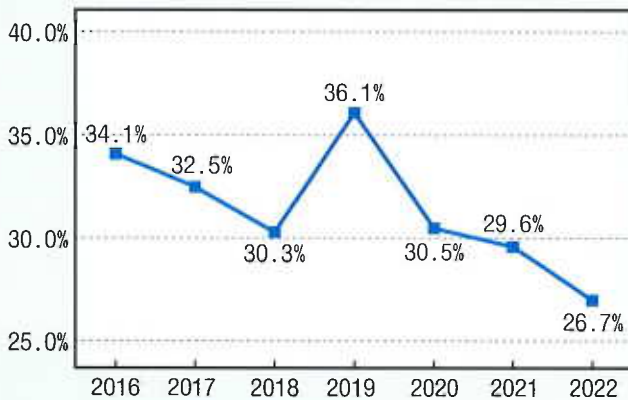
| 年代    | 男性    | 女性    | 合計     | %      |
|-------|-------|-------|--------|--------|
| 10代   | 2人    | 0人    | 2人     | 0.3%   |
| 20代   | 38人   | 5人    | 43人    | 7.0%   |
| 30代   | 70人   | 16人   | 86人    | 14.0%  |
| 40代   | 110人  | 17人   | 127人   | 20.7%  |
| 50代   | 123人  | 28人   | 151人   | 24.6%  |
| 60代以上 | 177人  | 29人   | 206人   | 33.5%  |
| 合計    | 520人  | 95人   | 615人   | 100.0% |
| %     | 84.6% | 15.4% | 100.0% |        |

40代以上の方が全体の8割弱を占めています。

男女の比率は、男性84.6%、女性15.4%となっており、昨年とほぼ同率でした。

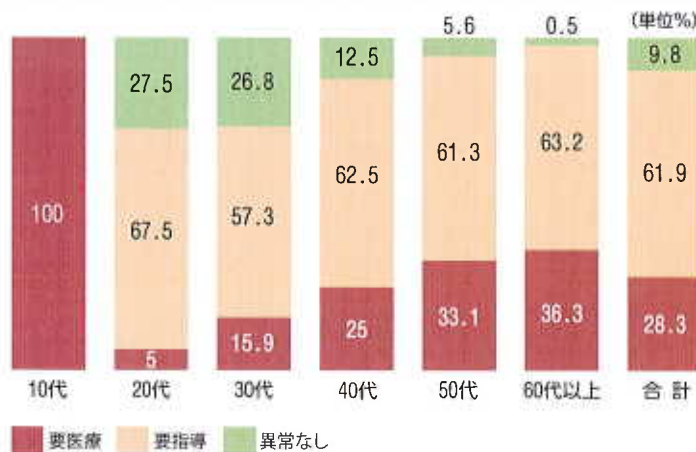


## ● 要医療者率（健康診断で治療や精密検査が必要と判断された方の割合）の経年変化



2016年度以降、要医療者率は30%台でしたが、2019年度からは減少傾向です。今後も要治療や要精密検査の判定が出た場合には、必ず受診するようご本人へのお勧めをされますことと、会社ぐるみで、生活改善⇒データ改善への取り組みを継続され、更に改善に向かっていくと良いと思われま。

## ● 有所見者の状況



2022年度の江別工業団地様の有所見者率は90.2%でした。昨年度より微増で、全国の有所見率58.7%（2021年度）と比較するとかなり高い割合です。有所見者率は年齢と共に上昇しますが、若い年代から、高めの傾向にあるのが気になります。食生活や運動など日頃の生活習慣を振り返るよう心掛け、組織ぐるみで健康づくりに取り組むなど、早急かつ継続的な対策をお勧めします。

### 健診結果で「所見あり」の方へ

年に一度の健診結果の有効活用を!!

### ● 要精密検査・要再検査の方は

必ず受診（再検査の場合は該当月を目安に）しましょう。検査を受けて異常がない場合は、生活習慣のアドバイスを受けましょう。治療が必要な場合でも病状の悪化予防、回復につながります。

### ● 生活注意・経過観察の方は

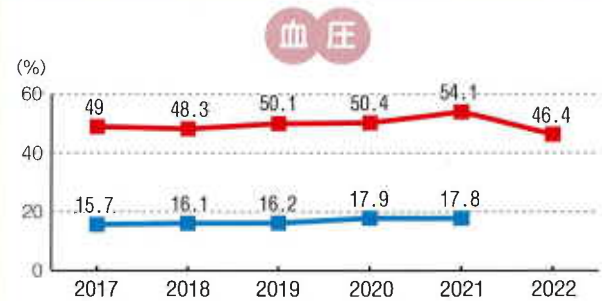
食生活の工夫や運動、休養に心掛け、改善に向けてチャレンジしてみましよう。



## ● 検査項目別有所見率の経年変化

特に有所見者が多い4項目（脂質、血圧、肝機能、血糖）について全国値（2021年度が最新）と比較してみます。

■ 全国 ■ 江別工業団地様



◆全国的に、血中脂質、血圧、肝機能、血糖の有所見率が高くなっています。江別工業団地様のデータのいずれの項目も全国データを大きく上回っていることがわかります。★今年度は脂質以外の項目に若干の改善が見られます。特に血圧は7.7%減となっており、何か取り組みの成果が表れたのでしょうか。※よろしければお知らせください。



◆血中脂質、血圧、肝機能、血糖は、高値であっても自覚症状がない場合が多く、生活改善や受診につながりにくい傾向があります。その状況を長期間放置しておくことは確実に血管にダメージを与え、動脈硬化⇒心疾患や脳血管疾患の引き金になっていきます。進行すると、日常生活やお仕事を続けていく上で支障をきたすこともありますので、今後も予防や悪化予防に心掛けていきましょう。

## 工業団地の皆様へ

毎年、健康診断を受診いただきありがとうございます。

皆様の健康診断は『労働安全衛生法』という法律に基づいています。企業は、従業員に健康診断を実施し、従業員もその指示に従うことが求められます。健診結果によって、雇用主は、就業場所や業務内容の変更、労働時間の短縮等の適切な措置をとらなければなりません。

健康診断は、健康であるか、病気の危険因子があるか

否かを見ていくもので、病気を早期に発見し、早期に治療することを目的としています。

今回の江別工業団地様の健康診断結果から、全国の傾向と共に見えたことあると思いますが、本年は改善面も見られましたので、皆様の各職場におかれましても、職場ぐるみでより一層の生活改善に向けての取り組みにつながっていかれますと幸いです。

ぜひ、お元気に活躍できるため、10年先、20年先もそして勤続後も健康に過ごせるよう、健診結果を大いに活用いただけたらと思います。

## 江別工業団地協同組合 組合員の皆様へ

日頃より献血にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

令和4年11月15日(火)に実施いたしました献血のご協力数は以下の通りとなっています。

| 実施時間           | 受付人数 | 200mL 献血 | 400mL 献血 | 不 適 | 採血人数 |
|----------------|------|----------|----------|-----|------|
| 8:30<br>～15:30 | 56   | 2        | 50       | 4   | 52   |

## たくさんのご協力ありがとうございました

### 冬の献血は更に厳しく

例年、冬の北海道における献血は、様々な要因により協力を得られにくい状況となります。

- ①雪害による献血バスの遅延や運行中止
- ②自宅や職場の除雪による疲労蓄積
- ③風邪やインフルエンザの流行
- ④年末年始による多忙や長期休暇など

さらに、前回の冬は記録的な降雪量で道民の生活を混乱させました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大による影響も続く見込みです。

しかしながら、輸血医療は如何なる状況下でも止まることはなく、血液製剤が供給されない日はありません。輸血用血液を安定して供給するためには、北海道で**1日700人以上の献血協力が必要です。**

献血にご協力いただいたばかりで誠に恐縮ですが、献血間隔が空きましたら是非献血ルームでのご協力もよろしくお願いいたします。

## 新型コロナウイルスワクチン接種に関するお願い

接種したワクチンの種類により、献血をご遠慮いただく期間が異なります。

| 種 類      | メーカー                      | 接種後以下の期間を経過すれば献血が可能です |
|----------|---------------------------|-----------------------|
| 組換えタンパク質 | ノバックス                     | 24時間以内                |
| RNA      | ファイザー・モデルナ                | 48時間以内                |
| ウイルスベクター | アストラゼネカ<br>J&J (ヤンセンファーマ) | 6週間以内                 |

※国内承認だけでなく、海外で使用されているワクチンを接種された方は、献血受付時に職員にお申し出ください。

# 4回目コロナワクチン職域接種終了

4回目コロナワクチン職域接種は、10月に江別工業団地協同組合より申請を済ませ、11月28日から12月8日までの10日間で実施いたしました。

今回も、江別工業団地協同組合・江別商工会議所・江別建設業協会・江別管工事業協同組合の4団体に所属し、18歳以上でかつ初回接種（2回）を完了した方を対象としました。接種者数、地域や年代は下記の表のとおりです。

3回目の職域接種の接種者減少以上に今回の職域接種では接種後の副反応の懸念の他に、期間中にコロナに感染された方や濃厚接触によるキャンセル、また更に新しいワクチ

ンの接種を希望する等の要因で前回接種から約4,000人と大幅な減少となりました。

換気が難しい冬となり、北海道では再び感染者が増加傾向にあります。その様な状況下の中多くの人が集まる年末を前に、働く世代の接種を進める職域接種を終えられたことは、接種者だけでなく、そのご家族など周りの方への感染を防ぐ大きな要因となるのではないのでしょうか。今回の職域接種ではすでに5回目の接種という方もいらっしゃいました。

初回接種、追加接種ともに無料で接種できるのは令和5年3月31日までとなっております。今回の職域接種で予定が合わず接種できなかった方、まだ接種をされていない方は自治体での接種ができますので、多くの方に接種していただき、感染拡大の減少に繋げていただければと思います。

## 【期 間】

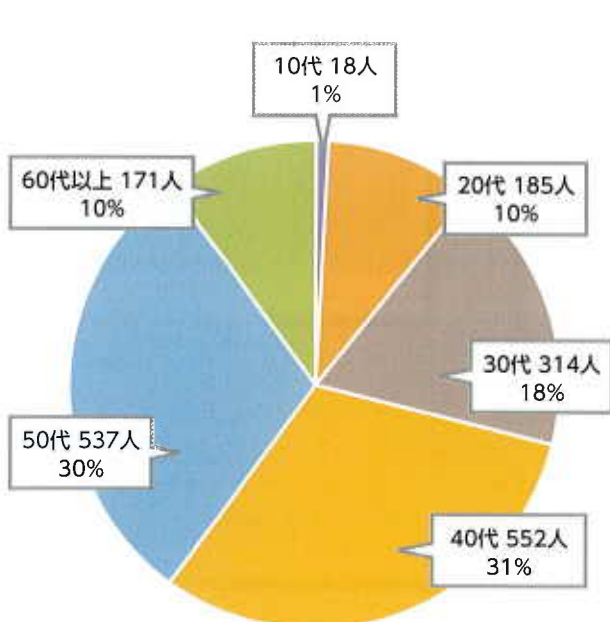
2022年11月28日～2022年12月8日

## 【接種者数】

|            |      |        |
|------------|------|--------|
| 江別工業団地協同組合 | 99社  | 1,577名 |
| 江別建設業協会    | 22社  | 137名   |
| 江別管工事業協同組合 | 7社   | 63名    |
| 合 計        | 128社 | 1,777名 |
| 江別商工会議所    | 112社 | 538名   |
| 全 合 計      | 240社 | 2,315名 |

## 年代別 接種者数

| 年代    | 人数     | 割合   |
|-------|--------|------|
| 10代   | 18人    | 1%   |
| 20代   | 185人   | 10%  |
| 30代   | 314人   | 18%  |
| 40代   | 552人   | 31%  |
| 50代   | 537人   | 30%  |
| 60代以上 | 171人   | 10%  |
| 合計    | 1,777人 | 100% |



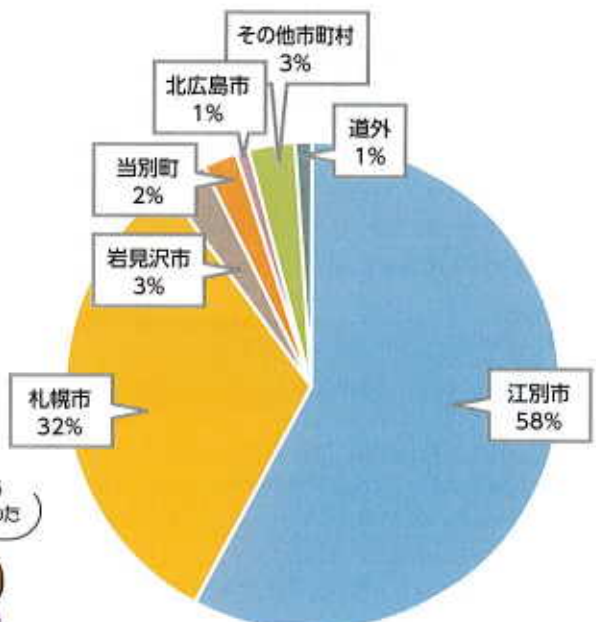
## 地域別 接種者数

### 地域別接種者数

| 市町村    | 人数   | 割合  |
|--------|------|-----|
| 江別市    | 1033 | 58% |
| 札幌市    | 565  | 32% |
| 岩見沢市   | 53   | 3%  |
| 当別町    | 36   | 2%  |
| 北広島市   | 24   | 1%  |
| その他市町村 | 53   | 3%  |
| 道外     | 13   | 1%  |

### その他市町村 内訳

| 市町村 | 人数 | 市町村  | 人数 | 市町村 | 人数 |
|-----|----|------|----|-----|----|
| 恵庭市 | 14 | 長沼町  | 3  | 赤平市 | 1  |
| 石狩市 | 9  | 苫小牧市 | 1  | 函館市 | 1  |
| 栗山町 | 6  | 美唄市  | 2  | 余市町 | 1  |
| 南幌町 | 6  | 旭川市  | 4  |     |    |
| 小樽市 | 4  | 新篠津村 | 1  |     |    |



## 杉野理事長 公平委員会 総務大臣表彰

杉野理事長が公平委員会制度70周年記念にあたり総務大臣表彰を受賞しました。この受賞は、10年間にわたり経済界を代表した公平委員として公正な人事行政の確立に尽力し、江別市行政の民主的で能率的な運営に貢献したことが評価されたものです。コロナ感染拡大で、東京（笹川記念会館）での表彰式が中止されたため、平成4年11月14日、江別市役所にて三好市長より伝達され、表彰状と純銀製の盃が贈呈されました。



## 工業団地協同組合で近日開催予定の講習会・イベント予告です

### 職長・安全衛生責任者教育講習会 2月14日(火)～15日(水) 開催

製造業、建設業では、新たに作業中の労働者を直接指揮・監督する立場となった者への教育が必要です。(労働安全衛生法第60条) 建設業で50人以上の労働者が働く工事現場(ずい道等の建設の仕事等は30人以上)に入る下請業者は、安全衛生責任者の選任が必要です。(労働安全衛生法第16条) この安全衛生責任者が労働災害を防止するために適切な業務を遂行するために必要な

教育内容が厚生労働省から示されています。

受講者には組合理事長名による「修了証」を交付いたします。



### (低圧)労働安全衛生特別教育講習会 3月7日(火) 開催

電気設備の整備や保守管理、適正な作業の遂行を図るとともに、電気取扱業務の従事者は、その作業を安全に行うための知識及び技能を有する事が重要です。

労働安全衛生法及び厚生労働省通達で定められたカリキュラム(8時間)に基づく受講内容で行いま

す。なお、受講者には 一般社団法人 日本電気協会 北海道支部による「修了証」を交付いたします。



### 親睦麻雀大会開催 2月25日(土) 予定

福利厚生事業の一環として組合創立後まもなくスタートした親睦麻雀大会。その伝統を引き継いで本年も上記の日程で開催いたします。組合員の皆様の参加をお待ちしております。



コロナウイルス感染状況によっては、定員人数が変更となる場合があります。開催にあたっては感染拡大防止対策をとって実施します。



- ① 席の間隔をあけて受講できる体制にします。
- ② 入り口にアルコール消毒液を設置いたします。ご来場の皆さまにおかれましては、「手洗い」や「マスクの着用」などの感染予防対策へのご協力をお願い致します。
- ③ 会議室・ドアノブ・机の消毒の徹底

- ④ 体温計の設置予防対策としてマスクの着用を推奨しております。
- ⑤ 「マスク」については、各自でのご用意をお願いします。



## 江別東・西インター開業40年 高速道着工までの紆余曲折

（江別の歴史を伝える集い会員・  
一般財団法人北海道文化財保護協会理事） 石垣 秀人

北海道に高速道路が誕生して半世紀。1971（昭和46）年12月に札幌自動車道（札幌道）小樽インターチェンジ（IC）～札幌西IC間、道央自動車道（道央道）千歳IC～北広島IC間の2区間が開通した。整備は翌年2月に開催された札幌冬季オリンピックに向けたもので、この年には札幌市営地下鉄南北線、札幌新道が開通し、現在の札幌圏の良好な交通環境の礎が築かれた。

現在、開通した高速道路の総延長は1,180kmを超えた（有料区間約720km、無料区間約461km）。北海道の計画延長は1,825kmあり約65%が開通した。

江別に高速道路が通ったのはそれから遅れること12年後の1983（昭和58）年11月で、その建設を巡っては紆余曲折があった。

### ルート変更など、陳情ラッシュ

1970（昭和45）年に札幌開発建設部が関係市町村に道央自動車道（北海道縦貫自動車道）の予定ルートを説明し、翌年に江別市が日本道路公団とルートや工法の折衝を開始しましたが、そのルートは市街地を迂回するものではなく、市街地を南北に通過することが判明した。

縦貫道の計画ルートについて初めて異議申し立てがあったのは、1971（昭和46）年7月、元野幌に移り住んだばかりの8世帯が、新築住宅を縦貫道を直撃するのを知り、仰天して路線変更を陳情したものだ。以降、様々な理由から反対運動が急速に広がっていった。同年12月議会には、元野幌の酪農家12人からなる高速道路対策協議会が、騒音、排気ガスにより、農作物の枯れ死や乳牛への悪影響が予想されること、農地が分断され、生活権が脅かされるとして、初めて公害問題を視点に経路変更の陳情を出した。翌年になると、東西野幌自治会、校庭が分断される三愛女子高校PTA、酪農

学園職員組合、江別地区労などがそれぞれ公害・教育環境の破壊などを理由に変更や全面廃止などの陳情を出した。8月には東大麻自治会からも変更を求める陳情が出され、その数は12本に達した。

翌年から審査、付託さ

れた市議会建設常任委員会では、8月中に2回にわたり陳情等を提出

した団体等から事情を聴取した。市は同委員会に結論を12月までに出してほしいと申し出。11月17日、申し出を受けた同委員会は結論を出すにあたり、市に対して①全市的な街路網計画の中における縦貫道の位置づけ、②反対住民の生活環境保全、③文教政策上の問題点など、資料等を求めた。市は11月24日、要求資料を提出、同時に「予定ルートを掘り割り工法を採用し、掘り割りの両側に植樹帯を設け、全幅員も100m程度を計画しており、工法上、住宅、教育施設、自然環境に与える悪影響はほとんどない」と改めて言明した。

この年の12月、同委員会は経路変更及び全面廃止を求める全ての陳情、請願を不採択とした。本会議の採決では、環境保全や公害排除に万全の措置など求める決議を採択し、予定ルートの“南北線”が正式に承認された。

これに対して、東大麻自治会らの路線変更期成会は住宅への影響が少なくないとして元野幌・対雁～篠津・美原～豊幌や北村を通る“北回り線”を主張したが、道路公団は泥炭地の地質や2本の橋梁建設などによる建設コスト高などを理由に受付ませんでした。また江別市が“南北線”に固執したのは当初ICが現在の江別西ICだけだったのに加え、当時、江別太に建設が予定されていた工業団地近くに江別東ICを設置したいという目論見もあった。

1975（昭和50）年の市長選では南北線の実現を期す現職の山田利雄市長と路線変更を求める神正一氏の一騎打ちとなった。結果は山田氏24,277票、神氏15,278票と山田氏が大勝し、再選を果たした。市長選挙を契機に路線変更運動は失速する。5年余りに渡る闘争は収束に向かった。ただ、建設に対して厳しい条件厳守が課せられたことで、着工にゴーサインが出たのは1979（昭和54）年。4年間の工期を経て札幌から岩見沢までの道縦貫道が開通、同時に江別西ICと江別東ICが開業し、今年40年を迎えた。

江別東IC周辺地区は、道央圏連絡道路（国道337号）の結節点に位置し、道内各地や空港、港湾へのアクセスもよく物流施設の立地に適した場所である、江別市では利便性の高い同地を（仮称）江別東IC特定流通業務施設用地として企業誘致（担当：市企業立地推進室）を進めている。

〔参考：北海道開発局（道路）ホームページ、江別市「新江別市史」（平成17年）〕



掘り割りの道縦貫道、写真は2番通りから札幌方向



江別東IC、周辺地区は物流施設の好適地

# 江別駅前イルミネーション

江別工業団地協同組合が中心となり、今回は学生にも設置作業の一部に参加していただいた江別駅前公園のイルミネーションが12月9日に点灯しました。



2年目となる今回のイルミネーションはLED電球を昨年の2万球から3万球に！プラタナスの巨木のライトアップには木々の枝に大小さまざまなイルミネーションが灯り、またレンガ造りの噴水のなかには江別市の名産である麦の穂の灯りの揺らぎがよりいっそう輝きをみせています。

点灯式には江別市出身のソロシンガーソングライターWatana Besta SOCIAL clubさんによるライブを行い、素敵な歌声とイルミネーションに多くの方が集まり、普段は静かな駅前が大きな賑わいをみせていました。

ライトアップの時刻は16時30分～0時30分、2月か

らは17時30分～0時30分となります。またライトアップの期間は3月下旬までとなっておりますのでまだ見ていないという方は是非江別のまちに灯る素敵なイルミネーションを見に行かれてみてはいかがでしょうか。



組合予定行事

|   |  |   |   |
|---|--|---|---|
| <p>17日(火) / 健康体操ワンコインレッスン</p> <p>18日(水) / 定例三役会</p> <p>20日(金) / 組合新年交社会</p> <p>24日(火) / 理事会</p> | <p>2日(木) / 広報編集委員会</p> <p>14日(火) / 健康体操ワンコインレッスン</p> <p>職員・安全衛生責任者教育講習会</p> <p>15日(水) / 定例三役会</p> <p>16日(木) / 福利厚生広報委員会</p> <p>25日(土) / 親睦麻雀大会</p> | <p>2日(木) / 安全衛生委員会</p> <p>7日(火) / 低圧電気取扱者・労働安全衛生特別教育講習会</p> <p>14日(火) / 共同受電事業委員会</p> <p>健康体操ワンコインレッスン</p> <p>15日(水) / 定例三役会</p> <p>16日(木) / 総務委員会</p> <p>23日(木) / 販売購買委員会</p> <p>28日(火) / 理事会</p> <p>5委員会合同会議会</p> | <p>【1月】</p> <p>15日(水) / 定例三役会</p> <p>20日(日) / 定例三役会</p> <p>【12月】</p> <p>12月9日 / イルミネーション点灯式</p> |
|---|--|---|---|